（記入例）

様式第１号（第３条関係）　　年　　月　　日

罹災証明交付申請書（地震等・風水害）

証明書が必要な方　（所有者　・　居住者）　いずれかに○

フリガナ
氏　名　：防災　太郎　　生年月日　：大・昭・平・令　●年●月●日

住　所　：市川市八幡●－●－●

日中連絡のつく電話番号　：090-●●●●-●●●●

被害場所の住所　（上記の住所と同じ場合は、「同上」と記入）

市川市　行徳●－●－●

被害場所区分　（該当するものに○）

1．一戸建住宅　（持家　・　借家）
2．アパート・マンション　等
3．店舗　・　工場　等
4．その他（　　）

証明書の使用枚数

（　3　）通

添付資料　（未補修の被害状況が確認できるもの）

1．写真
2．その他（　　）

被害状況　（被害状況、部位等を具体的に記載）

（例）
母屋の基礎が傾いた
母屋の外壁にひび割れ
カーポートのシャッターが壊れた
雪の重みで雨どいが歪んだ
農業用ビニールハウスが倒壊　など

※風水害の場合は該当に○・記入

1．浸水　（床上　・　床下　・　店舗工場内）
2．その他（屋根に破風板が飛んだ
壁にシミ・カビ　など）

写真判定の同意について　（いずれかに○）

被害状況の判定にあたり、現地調査を行いますが、被害の程度が軽微かつ「一部損壊（半壊に至らない）」という判定結果に同意いただける場合に限り、現地調査を省略し、添付写真のみで被害を確認する「写真判定方式」を取ることがあります。
このことを踏まえ、**「写真判定方式」に同意いただけるか選択してください。**ただし、被害の程度が軽微と認められない場合等は、同意の有無にかかわらず現地調査を行います。なお、建物以外の被害（門扉や塀、物置など）については写真判定（被害の有無の判定のみ）となります。

1．写真判定方式に同意する　（被害状況は「一部損壊」となります）
2．写真判定方式に同意しない
（現地調査を実施します。原則平日 10 時から 16 時半で、立ち会いが必要です）

受取予定者　（いずれかに○）

1．本人　　2．同一世帯家族　　3．郵送　　4．その他（　　）

※罹災証明書の交付には審査が必要であるため、申請から2～3週間後に交付（郵送）いたします。
また住家の被害に係る罹災証明書の判定にあたっては、原則審査の前に現地調査が必要となりますので、現地調査を行った日から2～3週間後に交付（郵送）いたします。

備　　考　（罹災原因）

平成・令和　●年●月●日　台風●号　による

※以下は市川市が記入します

罹災証明交付番号	受付職員所属・氏名